

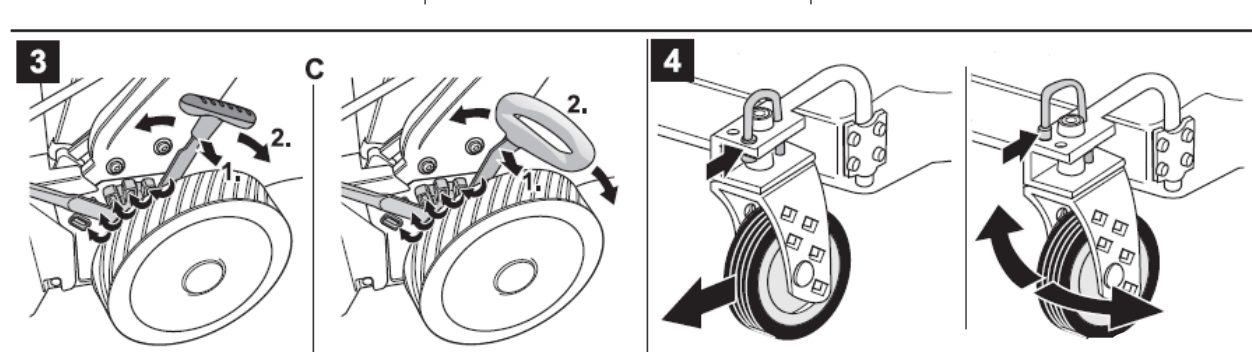
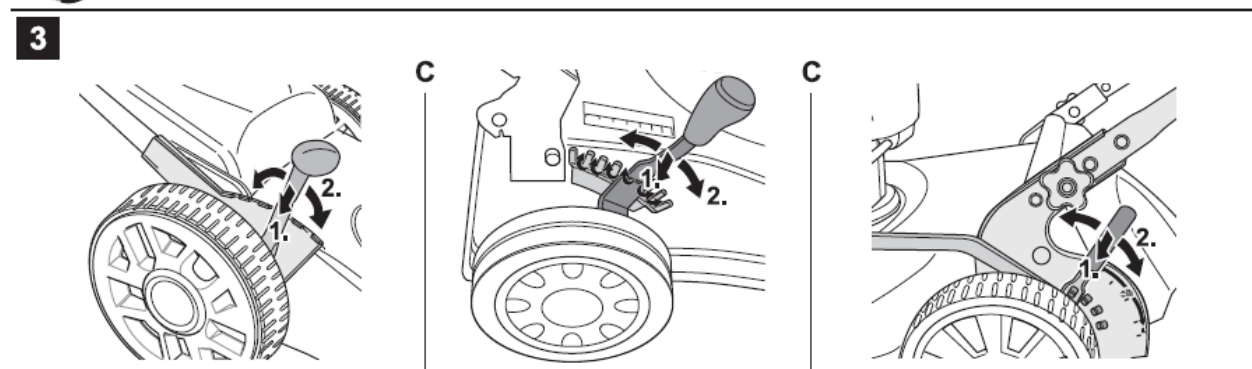
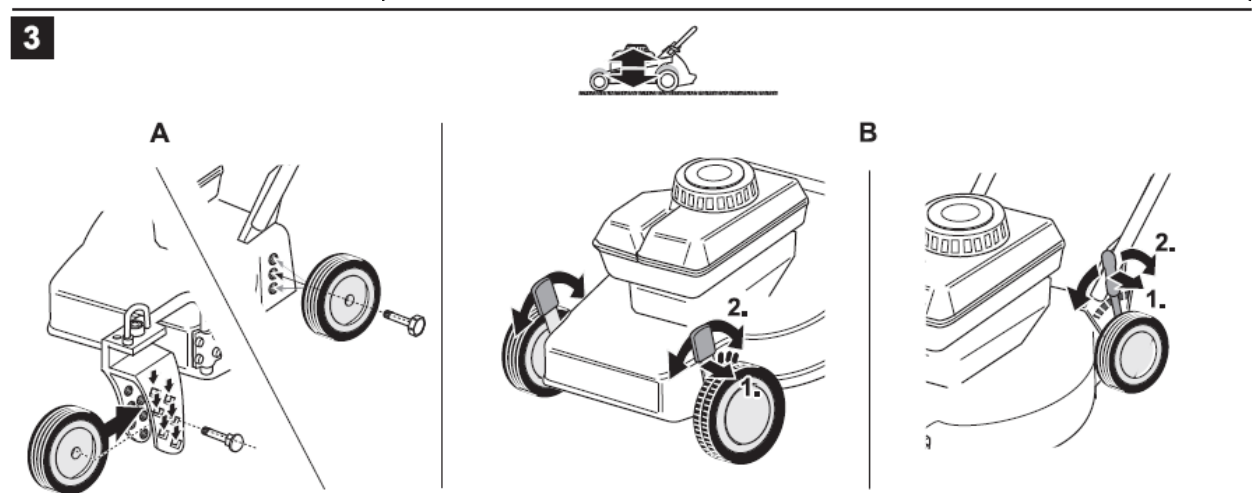
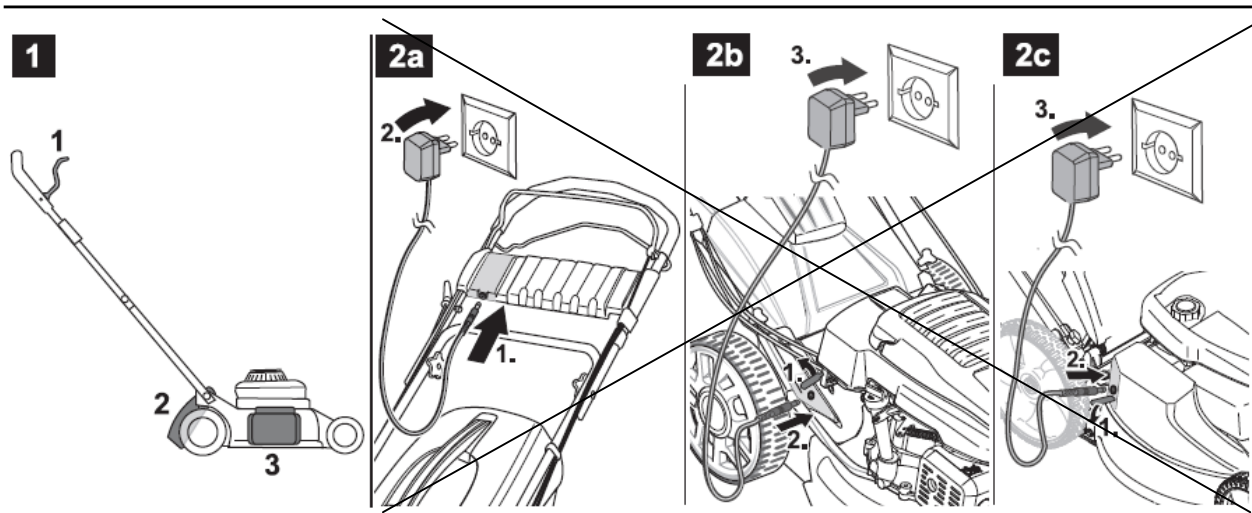


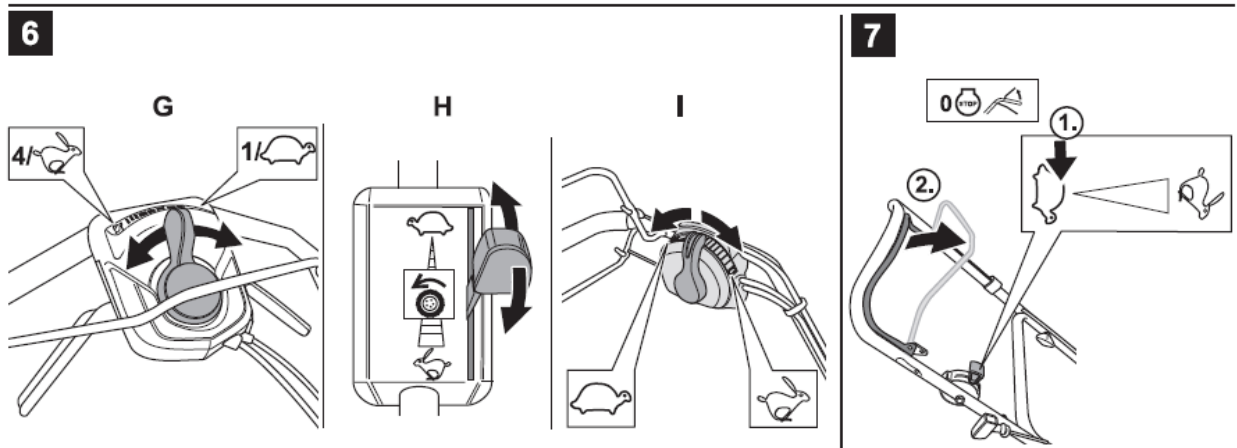
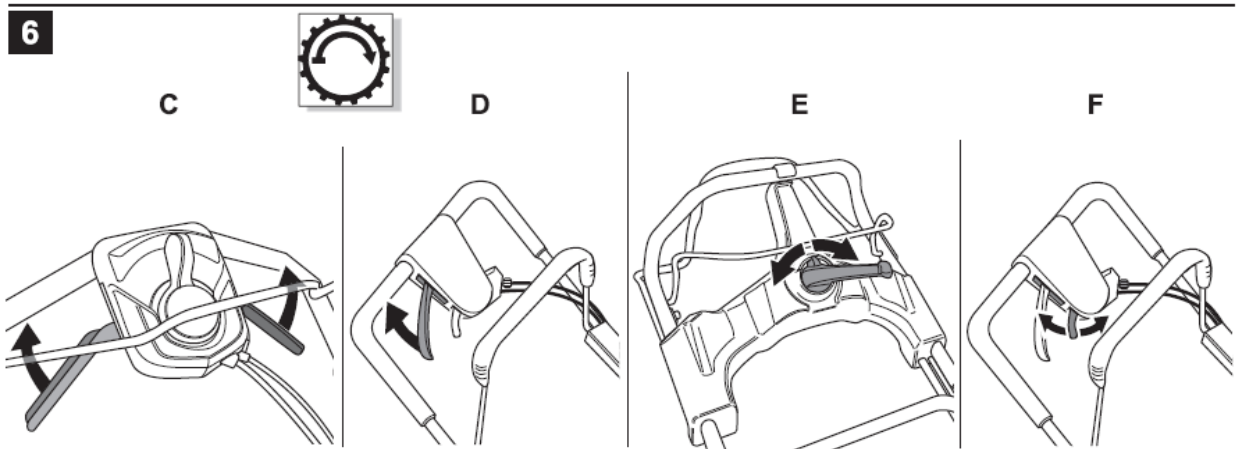
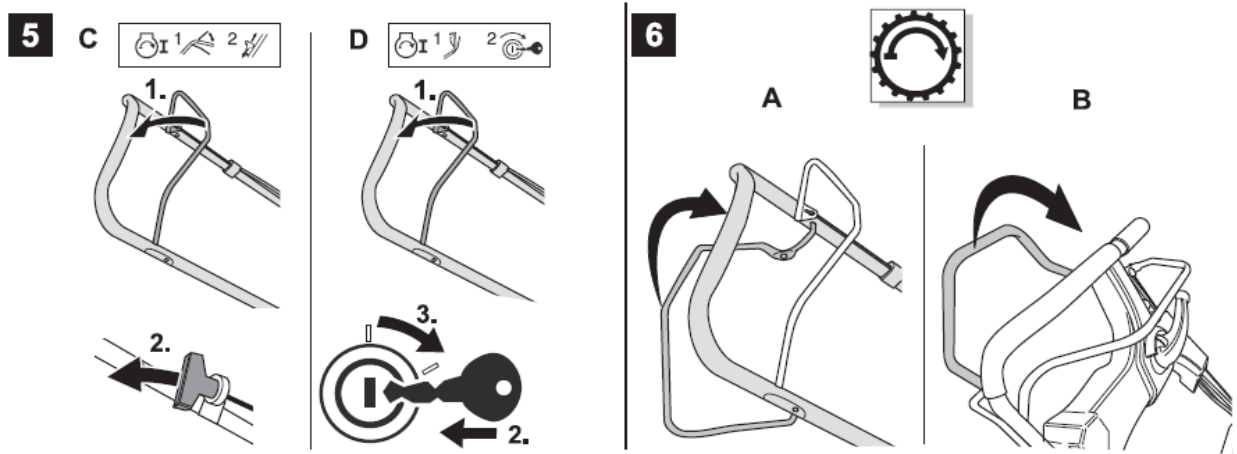
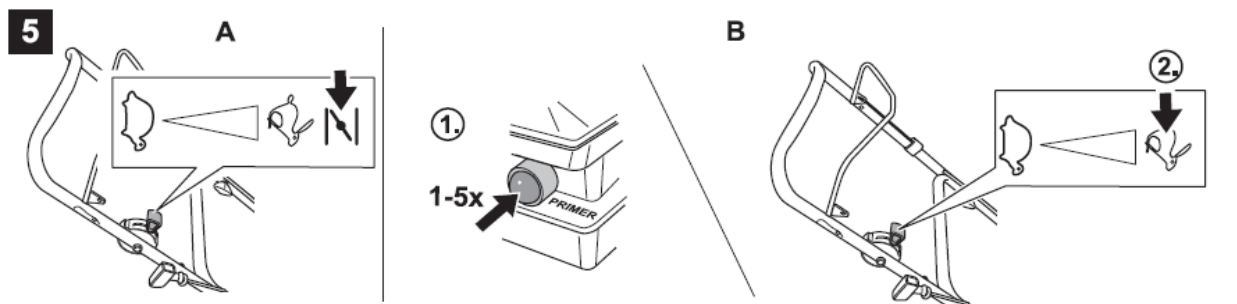
EQ 500 X

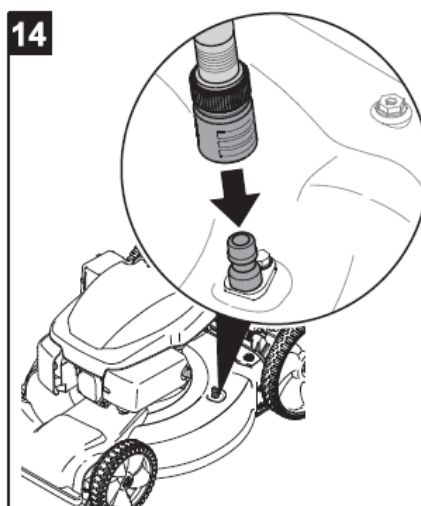
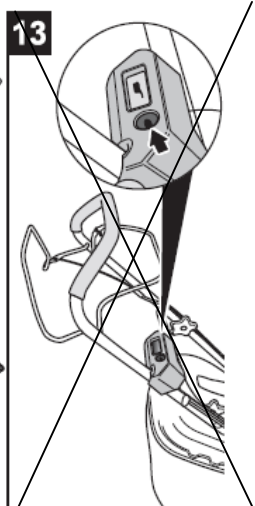
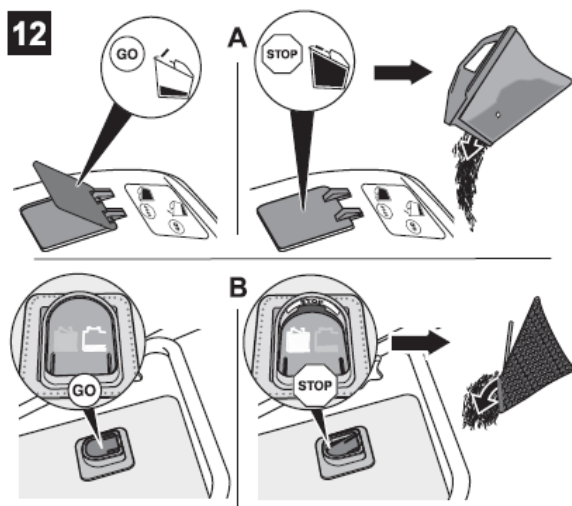
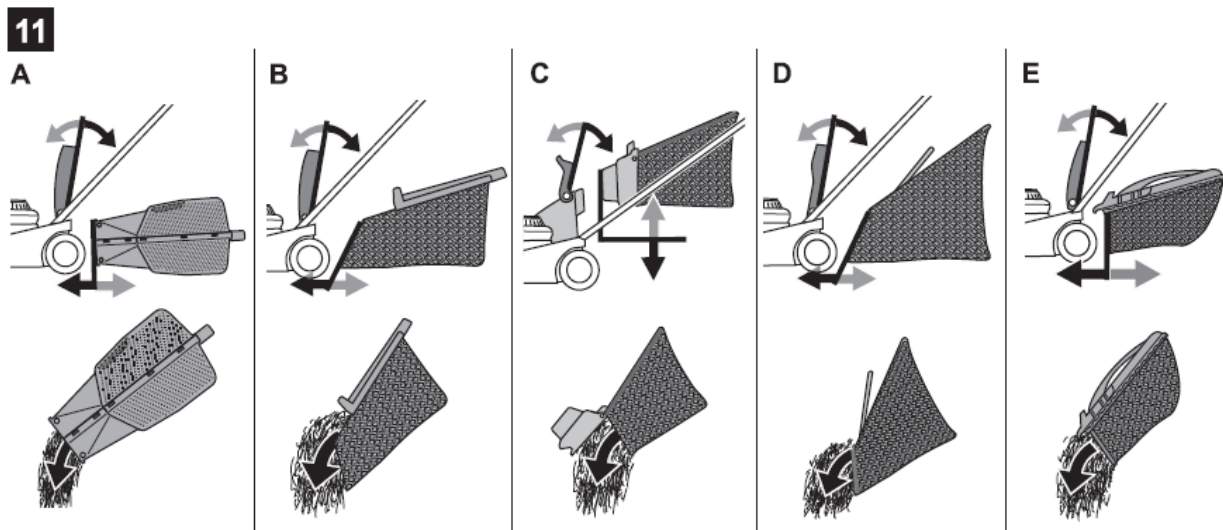
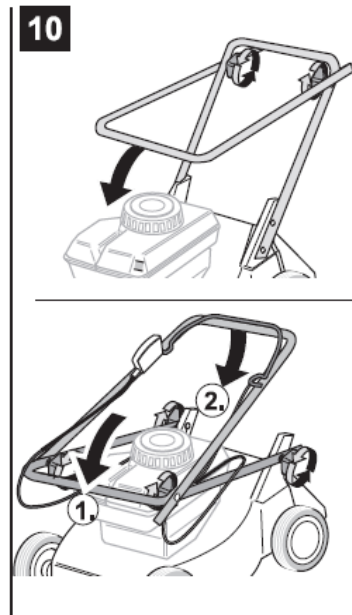
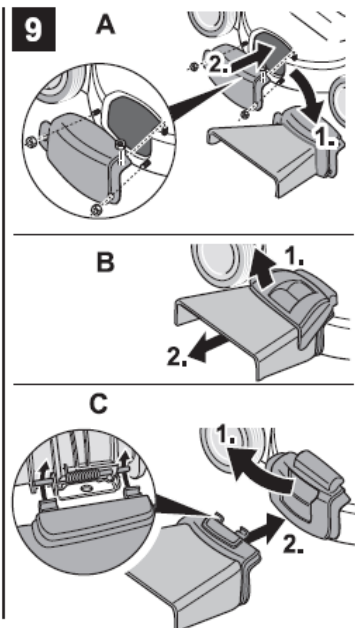
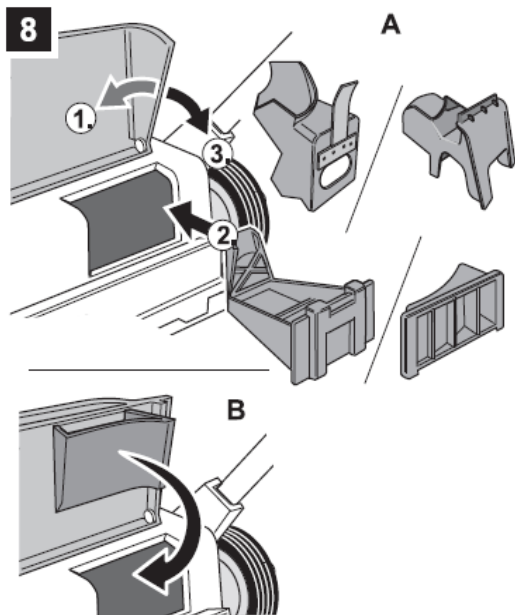
芝刈機取扱説明書



ブリッグス アンド ストラットン ジャパン







目次

オペレータの安全のために	5
安全装置	6
組立	7
操作の安全	7
芝生への注意	10
芝刈機の輸送	11
メンテナンス/清掃	11
芝刈機の保管	12
エンジンの出力定格情報	12
トラブルシューティング	13
保証規定	14

クラスプレートに関する情報

サービスパーツを注文するか、修理のために販売店に連絡するとき、プレートの詳細はこの芝刈機を特定することによって非常に重要です。

クラスプレートは、エンジンの近くにあります。

以下のスペースにこの芝刈機のクラスプレートに関するすべての詳細を入力してください。

これとは別に芝刈機の情報も、この取扱説明書の構成要素に合った別々のCE宣言に関して見つかります。

イラスト

この取扱説明書で、イラスト入りのページを確認してください。

共通する様々なモデルでの説明がこの説明書で記述されています。

これらのイラストは、購入された芝刈機とは異なるかもしれません。

オペレータの安全のために

正しく芝刈機を使ってください

この作業機は、以下に目的でのみに使用する芝刈専用の機械です

– 説明と安全な指示に従って

– 庭の芝生のみを刈ること

他のどの用途にも使用もしないでください。間違った使用による故障は保証の対象とはなりません。メーカーはどんな責任も拒絶します。ユーザーは、第三者とその資産に引き起こされるすべての損害に対して責任を負うことになります。

芝刈機に無許可の改造は、そこから起こる損害に対して、メーカー側はどのような責任も対象とせず、お客様の責任に帰します。

安全で操作の情報を確認

この製品を十分に理解してください。 この芝刈機がどのように作動するかを理解して、最も良い性能を引き出してご使用ください。この説明書を読むとき、イラストを参照してください。位置とコントロールの機能を理解してください。事故を防ぐには、操作方法と安全基準に従ってください。後日のためにこの説明書を保管してください。

芝刈機を操作する前に

- 芝刈機を操作する人は、麻酔剤（例えばアルコール、麻薬、薬物、その他）の影響を受けていないことが前提です。
- この芝刈機は地域の規則で16才より若い人は、使ってはならないと年齢を制限することがあります。
- 操作する人が、安全に対して責任がある人による芝刈機の使用に関して監督または指導をされない限り、この芝刈機は子供たちを含む未熟な身体や感覚であるか精神的な能力や経験と知識の不足の人は使用してはなりません。
- こどもたちが芝刈機の周辺で遊ばないことを確認すると共に、こどもたちを監視しなければなりません。
- 芝刈機を操作する前に、すべての付属品と操作の規制ならびに芝刈機の機能をよく知っていることを確認してください。
- 燃料の保管は承認された容器だけに保管し、決してオープンや熱い水槽など熱の近い源とはしないこと。
- 芝刈機には屋外だけで燃料を供給してください。
- エンジンが運転中や、まだ熱いときに燃料タンクに補充しないでください。
- 損害を受けたマフラ、燃料タンクまたはタンクキャップは交換してください。

- ・芝刈機を使う前にー
- グラスキャッチャが作動しているかどうか調べてください。ディフレクタが正しく閉まることを確認します。 損傷したり、磨耗したり、紛失した部品は交換してください。
- カッタブレードについてはどのような磨耗や損傷、固定ピン等の損傷を点検してください。
すべて磨耗したり損傷を受けたパーツは、アンバラン
スとなるため、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・スペアパーツとアクセサリは、メーカーで特定された
必要条件を満たさなければなりません。
したがって、製品で認可されるオリジナルのスペアパ
ーツとアクセサリを使ってください。
すべての修理は、お買い求めの販売店にご相談くださ
い。

芝刈機の操作時に

芝刈機を操作する際には、以下に示された防護服を着なければなりません。

これは以下を含みます：

- 安全靴
- スボン
- ぴったり合う衣類
- 耳栓
- 保護ゴーグルなど
- ・芝刈機に装備されているすべての安全装置は確実に作動していることが必要です。
- ・安全装置は絶対に改造しないこと。
- ・安全装置がメーカーによって明記されて、届けられる良い技術的な状態にある時だけ、芝刈機を操作してください。
- ・工場で予めセットされるエンジンの回転設定を決して変えないでください。
- ・芝刈機を裸火に近づけないで、スパークの発生させることを避けて、喫煙しないでください。

芝刈作業前に

芝刈機にはエンジンがあるため、本体を修理や調整する場合、もしくは持ち上げたり、持ち運ぶ際にはケガを避けるためには必ずエンジンをオフとします。

- エンジンのスイッチをOFF とします
- イグニッションキーがあれば、引き抜きます
- すべての可動部分が完全に止まってから、エンジンが冷めるまで、待ってください
- エンジンが偶然に始動を防ぐために、エンジンの点火プラグワイヤを取り外してください。
- エンジン・マニュアルでさらに安全情報を確認します。

作業を終えたら

エンジン停止しないまま離れないでください。キースイッチがあれば引き抜いてください。

安全装置

図 1



危険

安全装置にダメージを与えたり、安全装置がないならば、芝刈り機を決して使わないでください。

セーフティレバー(1)

セーフティレバーはエンジンとカッタブレードを緊急時に停止させるものです。

この機能を回避する試みがあってはいけません。それは使用者個人の安全のために重要です。

放出フラップ(2)とサイドシュートカバー(3)

放出フラップとサイドシュートカバーはブレードや飛散物から防護するものです。

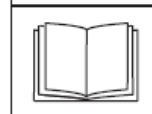
芝刈作業をする際にはこれらカバーがされていることが必要です。

機器のシンボル

芝刈機には様々なシンボルをステッカが貼付されています。これらのシンボルの示す内容は以下の通りです：



注意！



作業の前に取扱説明書を読むこと



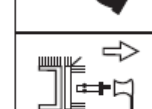
危険なエリアから離れること



本体を修理や調整する場合や持ち上げたり、持ち運ぶ際にはケガを避けるためには必ずエンジンをオフとすること

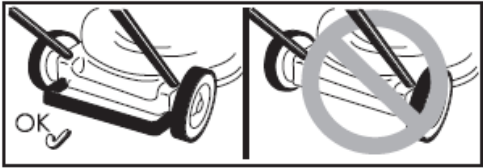


カuttingブレードを取りける前に、点火プラグコネクタを外すこと！
指や足をブレードから遠ざけること！
調整または清掃、点検する前に、芝刈機のエンジンを停止して、点火プラグコネクタを取り外すこと！





ケガに対するリスク - 放出力バーを取付けたときのみ作業をすること



ケガに対するリスク - テールクランプを取付けたときのみ作業をすること



ケガに対するリスク - サイドシュートカバーを取付けたときのみ作業をすること
これらのシンボルは常によく見えるようにしておいてください。

取扱説明書内のシンボル

シンボルは、危険を示すか、重要な情報に注意をひくために、取扱説明書のなかで使用されます。それらは、以下の特定の意味を持ちます：



危険

使用者が他人に対して脅威となり得る潜在的危険のもとに、使用者の注意をひきます。



注意

記述されている動きと関係している危険をハイライトするのに用いられて、それによって、損害が機器に影響されることがあります。



注意

重要な情報と機器についての情報を示します。

組立

別のシートに例示される手順で芝刈機を組立ててください。



処分の指示

包装材を地域の条例に基づき処分してください。

操作の安全

エンジンの取扱説明書に記載の指示事項にも従ってください。



危険

アクシデントの危険

- 芝刈機を使用中に周囲に動物や人、特に子どもたちが近くにいないことを確認してください。放出された石または他の放出物によるケガのリスクがあります。

倒れる危険

- 歩く程度で芝刈機を操作してください。
- 逆に刈って、使用者の方へ芝刈機を引くとき、特に気をつけてください。
- 急な傾斜地で刈る場合、芝刈機の傾斜運転によって損傷することがあります。
- スロープ(傾斜地)はスリッパし易く事故になる主な要因となります。事故により重症となる場合があります。スロープでは十分な注意を払ってください。スロープで不安に感じれば、芝刈り作業をしないでください。
- スロープでは横切って刈ってください。上方でなく下に向けて刈ってください。
15度より大きい傾斜地で刈らないでください。
- 本機を使用する範囲を確認します。本機から石などが飛散しケガをする可能性もありますので、家の窓、自動車のガラス、温室などの壊れやすい物から離れていることを確認してください。
- ぬれた草を本機で操作しないでください。常に芝刈を使用する場所を確認し、ハンドルをしっかり握んで歩行する範囲で操作してください。
- 日光の下か明るい光の下で、作業してください。

ケガの危険

- 常に回転ツールから安全な距離を維持してください。
- 使用者は常に芝刈機の後方に立ち芝刈をしてください。
- 部品の周りや回転部分に手や足を置かないでください。
- 雨天での使用は避けてください。
- 修理や掃除する際に本機から離れる時は必ずエンジンを止めるか、または本機を点検して、すべての回転部が止まったのを確認してください。エンジンを十分に冷却後、スパークプラグワイヤを外しスパークプラグ

から離してください。

- ・本機が異常に振動する場合は直ちにエンジンを止めてください。スパークプラグワイヤを外してください。ワイヤがスパークプラグに触れないようにします。直ちに原因を確認するか販売店に相談してください。
- ・砂利道、歩道、もしくは道路を渡るときにはエンジンを止めます。
- ・道路の近くで操作するもしくは、道路を渡るときは周辺に注意してください。
- ・エンジン運転中に、本機を抱え上げたり、運ばないでください。
- ・見通しのきかない曲がり角、低木、木、または他の物に近づくときは十分な注意を払ってください。

芝刈機にグラスキャッチャを取付けて

- ・グラスキャッチャを外すときや、グラスキャッチャの中にたまった芝を捨てるときは、エンジンを停止してください。
- ・グラスキャッチャやサイドシュートを取付けずに作業しないでください。

一酸化炭素中毒による仮死状態の危険

- ・室内、および換気の悪い場所ではエンジンを動かしてはいけません。排気ガスには無臭で、死に至らしめる一酸化炭素が含まれています。

爆発や火災の危険

- ・ガソリンや他の燃料の取扱いには余分に注意してください。それらは可燃物です。そしてその蒸気は爆発することがあります。裸火のある場所や温水器などのスイッチのスパークが出る場所や高温な場所ではガソリンを取り扱わないでください。
- ・給油は屋外でエンジンを停止し、エンジンが完全に冷えてから行なってください。
- ・エンジンが動いている間は、燃料タンクのキャップを絶対に開けてはいけません。
- ・燃料をこぼした場合、エンジン始動前にガソリン蒸気が完全に無くなっていることを確認してください。
- ・燃料タンクからドレンする場合は必ず屋外で行なってください。抜き取った燃料は専用容器の中に格納されるべきか、または慎重に処分してください。
- ・ガソリンは規格に合ったガソリン用の容器に入れ、通気のよい広い空間のある、子供の手の届かない屋内の冷暗所に保管してください。
- ・火災の危険を避けるために、以下の部品を草と流出したオイルを含ませないでください：
 - エンジン、
 - 排気、
 - ガソリンタンク。

つまずく危険

- ・歩く程度のスピードで芝刈機を操作してください。



注意

芝刈機への損傷

- ・石や散らばった枝と類似した物は、機械に損害を与えることとなり、機器の損傷となります。芝刈機の使用前には、付着しているゴミはすべて取り除いてください。
- ・芝刈機が良い技術的な状態にある時のみ、操作してください。芝刈機を使う前に、徹底的な視覚のチェックをしてください。特に、損害のために安全装置やワイヤを通した連携をチェックしてください。芝刈機を操作する前に、損傷下部品は交換してください。



運転時間

芝刈機を使用する時間に関して、地域の規則に従ってください。(必要であるならば、地域の自治体に確認してください)



方向

芝刈機の周辺は作業員から常に見渡すことが出来るようにすることが必要です。

始動前にまず行うこと

エンジンにオイル注入



注意

新品の芝刈機には輸送の都合上、エンジンにオイルは入っていません。
・このため、先ずエンジンにオイルを入れてください。
詳細はエンジンの取扱説明書を参照してください。

図 2a, 2b, 2c はバッテリーに関する図解ですが、米国向け仕様のため、本説明書では省略します。

使用前の調整について



ケガに対するリスク

芝刈機使用前に以下の操作をしてください。

- ・エンジンの停止
- ・イグニッションスイッチを抜く(装備されている場合)
- ・回転部が完全に停止し、エンジンが冷えるまで待ちます。
- ・スパークプラグワイヤを外し、不意な始動とならないようにする。

グラスキャッチャの取付

(芝刈機にグラスキャッチャ付モデルのみ)

図 11

- ・放出シュートを引き上げ、グラスキャッチャを図のように取り付けます。(仕様によって取り付け方が異なります)

刈高さの調整



注意

平坦でない地形のために、刈り高さをブレードが地面との接触するのを防ぐために選んでください。

図 3

芝を刈ろうとする高さに、高さ調整をします。モデルによっては異なりますが、刈高さは 30mm から 90mm まで調整できます。



注意

芝刈機のモデルによってはホイールの固定方式異なりますが、全ホイールを同じ高さに調整します。

モデル A

- ・ホイールを所定の高さに固定します。

モデル B

- ・レバーを横に引き、所定の高さにします。

モデル C

- ・レバーを外側に引き、所定の高さに合わせて溝に入れます。

フロントホイールの固定

(フロントホイールが自由に動くモデルのみ)

図 4

ホイールを直進方向一大きい孔に固定します。

エンジンに燃料を注入し、オイルレベルを確認

- ・無鉛ガソリンをタンクに注入
(エンジンの取扱説明書参照)
- ・注入は燃料タンクの注入口より約 2cm 下までとします。
- ・タンクキャップをしっかりと締めます。
- ・オイルレベルを確認し、必要に応じて補充してください。(エンジンの取扱説明書参照)

エンジンの始動

図 5



危険

ケガ防止のために:

- ・芝刈機の前方にいる場合は、エンジン始動しないこと。
- ・ブレードから手や足を離してください。
- ・回転部には手や足は近づけないこと。また放出カバーやサイドシュートカバーを開けたまま運転しないこと。

エンジン始動前に、ブレードが正しく取り付けられていることが必要です。短いまたはできるだけ短い草で平らな表面で機器を保ってください。



エンジンについての案内

先ずエンジンの取扱説明書をお読みください。

- ・一部のエンジンにはスロットルコントロールができない仕様があります。エンジンの回転スピードは一定です。
- ・エンジンが暖かなくてもチョークやプライマボタンを押して始動する必要があります。
- ・一部モデルではチョークやプライマの操作を不要とします。エンジンは自動的に始動できるようになっています。

低温時の始動

- ・燃料コックを開ける(装備している場合)
- ・チョーク  操作をします。
- ・チョークレバーを引くか、スロットルレバーを  もしくは高速とします。(図 5A)

プライマ付の場合

- ・プライマを 1~5 回ほど押して、スロットルを  もしくは高速とします。(図 5B)

エンジンが温まっている場合

- ・燃料コックを開ける(装備している場合)
- ・スロットルを  もしくは高速とします。(装備している場合)

エンジン運転中

- ・エンジンが始動したら:
 - チョークを戻す(装備している場合)
 - スロットルを  と  の中間として、エンジンが温まるのを待ちます。(装備している場合)
- ・スロットルを全開とします。(装備している場合)



注意

エンジンの取扱についてもっと知りたい場合は、エンジンの取扱説明書を読んでください。

エンジンの停止

図 7

- ・スロットルを  とします。(装備している場合)
- ・セーフティレバーを離します。
エンジンと回転していたブレードが停止します。

芝刈機の作動

走行ギアの連結と解放

(芝刈機の自走装置が装備されたモデルのみ)

図 6A, B, C, D

ギア駆動の連結



- ・セーフティレバーを引いてハンドルと共に握ります。

ギア駆動の解放



- ・セーフティレバーを放します。



図 6C 仕様の場合

この仕様はスイッチのOn/Offを左右のレバーの片方か両方のいずれか出作動します。



注意

芝刈機が後進する場合、後輪がロックして抵抗が大きくなります。これは技術的な問題としておこるものです。
修正的な行動（モデルによる）： ドライブ・ハンドルを引かず、芝刈機を少し前に押してください。

走行速度の変更

（モデルによる）



注意

芝刈機の損傷

エンジンが運転中に調整をするとケガのもととなります。

図 6E, F, G

- ・小さなレバーを動かすことで走行スピードが変化します。（1/最少  から 4/最大  となります）

グラスキャッチャを外して空にする

グラスキャッチャを取付けた後、放出力バーを下げます。グラスキャッチャが取り付けていないとカットキープ草は下に落ちます。

マルチカバーの取付

（オプションとしてマルチプラグがある場合）

後方放出モデル

図 8A

- ・放出力バーを持ち上げる
- ・グラスキャッチャを外す
- ・マルチプラグを差し込む
- ・放出力バーを下げる



注意

モデルによっては放出力バーにマルチプラグがついているものもあります。（図 8B）

サイド放出モデル

図 9

- ・サイドシュートに代わってマルチプラグのモデルもあります。（図 9A）
- ・サイドシュートを外してマルチプラグを取付けるタイプもあります。（図 9B）

サイド放出に変更

（モデルによる）

- ・取り付けられている場合： グラスキャッチャを外し、放出力バーを下げます。
- ・図 9C のようにサイドディスチャージを取付けます。

作業終了後

- ・イグニッションキーを引き抜く（装備されている場合）
- ・回転部が停止するまで待ち、エンジンが冷えるのを待ちます。
- ・燃料コックを閉める（装備している場合）
- ・スパークプラグコードを引き抜く。
- ・デッキ内に堆積した草を取り除く。



注意

エンジンが十分に冷えたら以前あった部屋に保管します。

芝生への注意

芝生を健康的に、均一な成長を確実にするのに役立つ若干のチップは、以下にあります。

芝刈り

芝には数種類の芝があります。いずれにしても芝刈をすることで、芝の茎や根を強くします。

芝刈を怠ると雑草やクローバー等が生えます。

芝生は高さを約 4～5cm 程度とします。芝を刈る限度は全高の 1/3 とします。

4cm より短い草を切らないでください。さもなければ、芝生は乾いた期間に刈れる等の被害を被ります。

草が特に高く（たとえば、休暇中の期間の間に）なったならば、何回かに分けて通常の高さに芝刈してください。刈るとき常に、わずかに刈る幅をオーバーラップさせてください。

マルチング(アクセサリを使用して)

芝を約 1cm 程度に切って芝の上に撒きましますと、それが栄養となります。

このマルチングで重要なことはとにかく短く切ることで

す。「芝刈り」項を参照してください。

マルチングする際の注意事項は：

- 濡れた芝は刈らないこと
- 2cm 以下では行わないこと
- ゆっくりと芝刈すること
- ブレードは常にきれいにしておくこと

芝刈機の輸送

手で短い距離を移動



危険

デッキ内のブレードの刃先でケガをすることがあります。移動前に草以外の表面の上で、エンジンを停止してください。

車両に搭載して移動



危険

移動前にエンジンを停止させ、冷えるのを待ちます。スパークプラグへのワイヤを外します。芝刈機は移動時には立てて行なわないでください。燃料を完全に抜き取り、タンクキャップをしっかりと締めます。

芝刈機のハンドルは折りたためます。

図 10

- ・ハンドルを折りたたんで保管します。

サービス/清掃



注意

芝刈機を使用時のケガを防止してください。

- ・エンジンを停止する
- ・イグニッションキーを引き抜く(装備されている場合)
- ・回転部が停止するまで待ち、エンジンが冷えるのを待ちます。
- ・スパークプラグワイヤを外し、不意な始動とならないようにする。
- ・その他エンジンに関する詳細はエンジンの取扱説明書を参照してください。



危険

カッタブレードからケガを防止するために、ブレードを交換する仕事は専門業者に行ってもらってください。

サービス



注意

エンジンの取扱説明書にあるメンテナンスの項目を見てください。

芝刈のシーズンが終わったら、芝刈機のメンテナンスをするべく専門業者に相談してください。お買い求めの販売店にご相談ください。



注意

エンジンから抜いた古いオイルは地域の規則に則り処分してください。



注意

エンジンのメンテナンスの間隔や点検についてはエンジンの取扱説明書を参照してください。

メンテナンスの指示に従い適切なメンテナンスの内容を観察してください。

作動ならびに詳しい情報は、メンテナンスの内容は別の操作説明において確認できます。

各部操作の前に

- ・オイルレベルを点検してください。不足していれば補充してください。
- ・各部のスクリュの緩みが無い点検し、必要に応じて増し締めしてください。
- ・安全装置を確認してください。

クラッチリンクのチェック

(芝刈機の自走装置が装備されたモデルのみ)

- ・芝刈機はエンジンが始動しても、走行のレバーをハンドルと共に握らない限り前進しません。
- ・もしも要求される場合、ホイールドライブ・レバー(コントロールパネルの下側の上でデザインによる)またはボーデン・ケーブルの上で指回し式ホイール/調整ナットを使っている接触点を決めてください。

最初の運転 2-5 時間

- ・オイルを交換する
(エンジンの取扱説明書を参照してください)

芝刈作業シーズン後

- ・オイル交換
(エンジンの取扱説明書を参照してください)
- ・ピボットポイント、スプリング、カバーヒンジ等にオイルを塗布
- ・芝刈のシーズンが終わったら、芝刈機のメンテナンスをするべく専門業者に相談してください。お買い求めの販売店にご相談ください。

清掃



注意

芝刈機は使用後その都度清掃してください。怠ると損傷した部分がそのまま使用されてより大きな損傷やケガのもととなることがあります。

高圧洗浄機による洗浄は控えてください。

グラスキャッチャの清掃

より簡単な清掃は、芝刈した直後に行うことです。

- ・キャッチャ内の草を空ける。
- ・キャッチャ内の堆積物は、水道ホースで洗浄します。
- ・洗浄後は十分に乾燥させてから、次に使用してください。

芝刈機の洗浄



危険

ブレードの取扱の際にケガに注意してください。
安全防護手袋をして取り扱ってください。



注意

芝刈機を立てる場合は、エンジンのスパークプラグ側を上にしてください。さもないとオイルが燃焼室やキャブレタ内に溜まり、次回のエンジン始動が出来なくなります。

水を散水しての洗浄はおやめください。

出来れば芝刈作業後に常に清掃してください。

ホイールを下にして芝刈機をおいてください。すべての見える草やごみと泥等を取り除いてください。

デッキ内洗浄システム(モデルによる)

図 14

このシステムは水道ホースをデッキにあるジョイントに差し込みます。

デッキ内部の草や堆積物が洗い流され、また堆積した化学成分も洗浄できます。

芝刈後は平らな床面に置き、残った堆積物や石を取り除きます。



注意

放出シュートは家の方向に向けないでください。

- 水道ホースの先端にジョイントを取付け、デッキにある連結部に繋がします。
- 水度水を流します。
- エンジンを始動して数分運転します。
- エンジンを停止して水道を止めてホースを外します。

最終の処理

- エンジンを再始動してデッキ内を乾燥させるために数分運転します。
- エンジンを停止します。

芝刈機の保管



危険

爆発や火災の危険を避けるために

燃料タンク内のガソリンは完全に抜き取ってください。
ガソリンが残っていると保管庫内にガソリンの蒸気が充満して、わずかな火花でも引火することがあります。



注意

芝刈機機器への損傷

エンジンが冷えたら、芝刈機をきれいで湿気がない部屋に置いておいてください。

例えば長期間保管するとき、芝刈機を十分に保護してください。

シーズンの終わりにまたは、1ヵ月以上使われないとき。

- 適当な容器に燃料を排出してください。そして、エンジンの取扱説明書で定める方法でエンジンを保管してください。



注意

燃料のドレンは屋外で行ってください。

- グラスキャッチャを清掃します。
- 金属部品に錆を防ぐため、オイルを含んだ布でふいてください。

エンジンの出力定格情報

個々のガソリン・エンジン・モデルの総出力定格は、SAE（自動車技術者協会）のコード J1940（小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き）に従ってラベル上に表示され、SAE J1995（改訂 2002-05）に従って定格性能が取得および訂正されました。トルクは 3060 rpm で計測し、出力は 3600 rpm で計測します。

ネット出力値は排気装置とエアクリーナを取り付けていることに対し、グロス出力値はこれらの付属品なしで計測されます。実際のグロスエンジン出力はネット出力より高く、特に周囲動作条件および個々のエンジンの違いの影響を受けます。エンジンが搭載される製品が多種多様であることや、エンジンの運転に関するさまざまな環境の問題を考慮すると、ガソリン・エンジンは動力装置の一部として使用された場合ネット出力には達しないこともあります。この差は、付属品（エアクリーナ、排気装置、充電、冷却、キャブレタ、燃料ポンプなど）、使用制限、周囲動作環境（温度、湿度、緯度）、個々のエンジンの違いなど、さまざまな要因によるものです。製造上および能力上の制約により、ブリッグス&ストラトンは、このシリーズのエンジンの代わりにより高い出力のエンジンを使用することがあります。

トラブルシューティング

トラブル	原因	処置対応
エンジン始動しない	チョークが正しく操作されていない	チョークが正しい位置に操作する
	燃料がない	燃料タンクに新しいガソリンを入れる 補給方法についてはエンジン取扱説明書参照
	エアクリーナエレメントが汚れて詰まっている	エアクリーナエレメントを清掃する 清掃方法はエンジン取扱説明書参照
	スパークプラグが締まっていない	25-30Nmのトルクで締める
	スパークプラグ・コードが外れている	スパークプラグ・コードをスパークプラグにしっかりと差し込む
	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mmに調整する
	スパークプラグが損傷している	新しいスパークプラグに交換する スパークプラグの品番はエンジン取扱説明書参照
	キャブレタから燃料があふれている	エアクリーナを外して、スパークプラグ・コードを外して軽くスタータロープを引いて余分なガソリンをきれいな布でふき取り、エアクリーナを取付ける
	燃料タンク内に汚れた遺物や水が混入	タンク内の燃料を抜き、清掃後新しいガソリンを入れる
エンジン始動不良もしくは出力不足	タンクキャップのベンチレーション不良 (キャップを外すとヒューという音がする)	清掃するか、キャップを新しいものに交換する
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換
	スパークプラグが損傷している	新しいスパークプラグに交換する スパークプラグの品番はエンジン取扱説明書参照
エンジンが不安定な運転	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mmに調整する
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換 清掃方法はエンジン取扱説明書参照
エンジンの低速が不安定	冷却フィンが詰まったり、冷却口入口が詰まっている	ごみを除去する
	キャブレタが詰まっている	お買い求めの販売店に相談し修理依頼する
	スパークプラグのギャップが狂っている	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mmに調整する
エンジンの回転数が高速になる	冷却フィンが詰まったり、冷却口入口が詰まっている	ごみを除去する
エンジンオーバーヒート	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mmに調整する
	ブレードの緩み	ブレードを正しく締める
芝刈機の振動が大きい	ブレードバランス不良	ブレードのバランスを取るか新品部品に交換する

BRIGGS & STRATTON® 最終製品保証

お買い上げいただきました BRIGGS & STRATTON® 最終製品につきまして、保証登録書に正しく記載されている場合に限り、以下の通り保証いたします。

保証内容

本機の材質もしくは製造技術上あるいは双方の不備による故障が発生した場合、故障発生後 1 ヶ月以内にお申し出のある場合は当社あるいはお買い上げの特約販売店にて、これを無料修理いたします。(これを保証修理と称します)

保証修理は部品の交換あるいは修理とします。製品本体の返品または代金の返却はいたしません。

保証期間

お客さまの使用目的が「家庭用」の場合は納入完了日より 1 年間、また「業務用」の場合は納入完了日より 90 日間とします。「家庭用」とは最初にご購入されたお客様が個人の住宅用に使用することを意味します。「業務用」とは営業用、収入源としての使用または貸し出し用を含む「家庭用」以外の全ての用途に使用することを意味します。この規定では一度でも「業務用」としてご使用となった場合は、それ以降「業務用」とみなします。

保証の適用除外項目

保証期間内であっても次の各項に該当する場合は保証の対象外とします。

- ① 保証登録書の提示が無い場合または登録書の改ざんが認められる場合
- ② 製品の通常使用による消耗部品
(ブレード刃、ゴム製品、ガスカート、ワイヤ、スパークプラグ、油脂類、その他これらに類する消耗品)
- ③ 取扱説明書に基づく取扱方法によらない使用、使用者の過失または点検・整備不良・保管不具合等によって生じたと認められる故障
- ④ 損傷部品の提示が無い場合
- ⑤ 使用者の改造や変更が原因となって発生した故障
- ⑥ 純正部品以外を使用したことによる故障
- ⑦ 当社が示す仕様の限界を超えて使用した場合
- ⑧ 販売店の記入欄に販売店による記載・証明が無い場合
- ⑨ 最初にご購入された方が転売された場合
- ⑩ 当社指定の特約販売店以外で修理され、故障した場合
- ⑪ 一般に機能上影響のない感覚的現象(音・振動・臭いなど)
- ⑫ レンタルやリースなどに一度でも使用された場合
- ⑬ アクセサリ・工具
- ⑭ 製品本体及びエンジンアセンブリ
- ⑮ 天災・地変・火災及び不可抗力の事故によって生じたと認められる故障
- ⑯ 機械の故障発生から保証修理までに失われた利益

保証修理

保証修理をお受けになる場合は、当社特約販売店へお持ちいただき、お申し出ください。

保証修理をお受けになる場合は保証登録書を必ずご提示ください。

ブリッグス アンド ストラットン ジャパン株式会社

〒523-0817 滋賀県近江八幡市浅小井町 591 電話 0748-34-0200

